

平成27年2月12日

公益法人日本釣振興会北海道地区支部

支部長 ■■■■■ 様

北海道開発局旭川開発建設部

治水課長 吉村俊彦

### 忠別川での河川環境に関する公開質問状に対する回答

日頃より、北海道開発行政の推進に特段の御配慮を賜り、厚く御礼申し上げます。

貴支部からの標記公開質問状について、1月30日付で受け取りました。次のとおり回答致します。

1. 忠別川 (KP4.5) 付近 JR 橋下流での土嚢の設置箇所を改善してください。
2. 忠別川 (KP4.6) 付近、JR 橋上流での河道流路変更工事を改善してください。
3. 忠別川取水堰 (KP9.4) での工事方法を改善してください。

(回答1、2、3)

これまでも、現地の状況を把握し、一定の配慮を行ってきたところですが、今後も、現地の状況を確認し、専門家の意見を伺いながら、必要に応じて対策を検討したいと考えております。

4. 河川工事に於ける自然環境への配慮についての貴局のお考えをお聞かせください。

(回答4)

河川環境の多様性や連続性を保全し、動植物の生息・生育環境の保全・形成を図ることが重要であり、魚類の生息環境が良好に保たれるよう配慮することが必要と考えております。

今回のご指摘も踏まえ、今後も、河川工事の実施にあたり、事前に専門家などの意見を伺うなど、魚類の生息環境が保全されるよう取り組んで参りたいと考えております。

最後に、旭川開発建設部では、自治体、地域の方々から意見を伺いながら、地域の安全安心の確保とともに、サケなどの移動の連続性を妨げている横断工作物への魚道の設置など良好な河川環境の保全・復元や地域住民に活用できる水辺の創出等を含め様々な取り組みを行ってきているところです。引き続きご理解とご協力をお願いします。

## 石狩川におけるサケの遡上状況について【参考】

旭川開発建設部では、河川環境の改善に向けた種々の取り組みを関係機関や地域の方々と共同して実施してきました。

サケなどの移動の連続性を妨げている横断工作物については、下流の札幌開発建設部とともに施設管理者と連携して移動の連続性の確保に努めてきたところです。

これまで、平成 12 年度に旧花園頭首工右岸、平成 14 年度に大雪頭首工、平成 23 年度に旧花園頭首工左岸への魚道の設置等を行ってきたところです。地域における稚魚の放流活動と併せて、これらの取組等の結果、現在、忠別川はもちろん石狩川本川では愛別町までサケの遡上が確認されるようになりました。



大雪頭首工魚道全景（下流より上流側を望む）